

糸島市男女共同参画 推進状況報告書

(平成 29 年度実績報告)



平成 30 年 7 月

糸 島 市

1. 第2次糸島市男女共同参画社会基本計画の概要

第2次糸島市男女共同参画社会基本計画（以下「計画」という。）は、男女が互いにその人権を尊重し、共に責任を担い、性別にかかわらず、あらゆる分野において対等に参画できる男女共同参画社会の実現を目的とし、「糸島市男女共同参画推進条例（以下「条例」という。）」に掲げる8つの基本理念に則り、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために策定したものです。

基本理念（条例第3条）

1. 性別による差別を禁じて個人の尊厳を重視
2. 個性の尊重と能力の発揮
3. 社会における制度又は慣行についての配慮
4. 政策等の立案及び決定への共同参画
5. 家庭生活における活動と他の活動の両立
6. 教育の場における人権及び男女平等教育の推進
7. 互いの身体的特徴および性に関する個人の意思の尊重
8. 国際的な相互協力

なお、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（以下「DV防止法」という。）に基づく「市町村基本計画」及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「市町村推進計画」は、この計画の中に包含し、策定しています。

2. 計画の位置付け

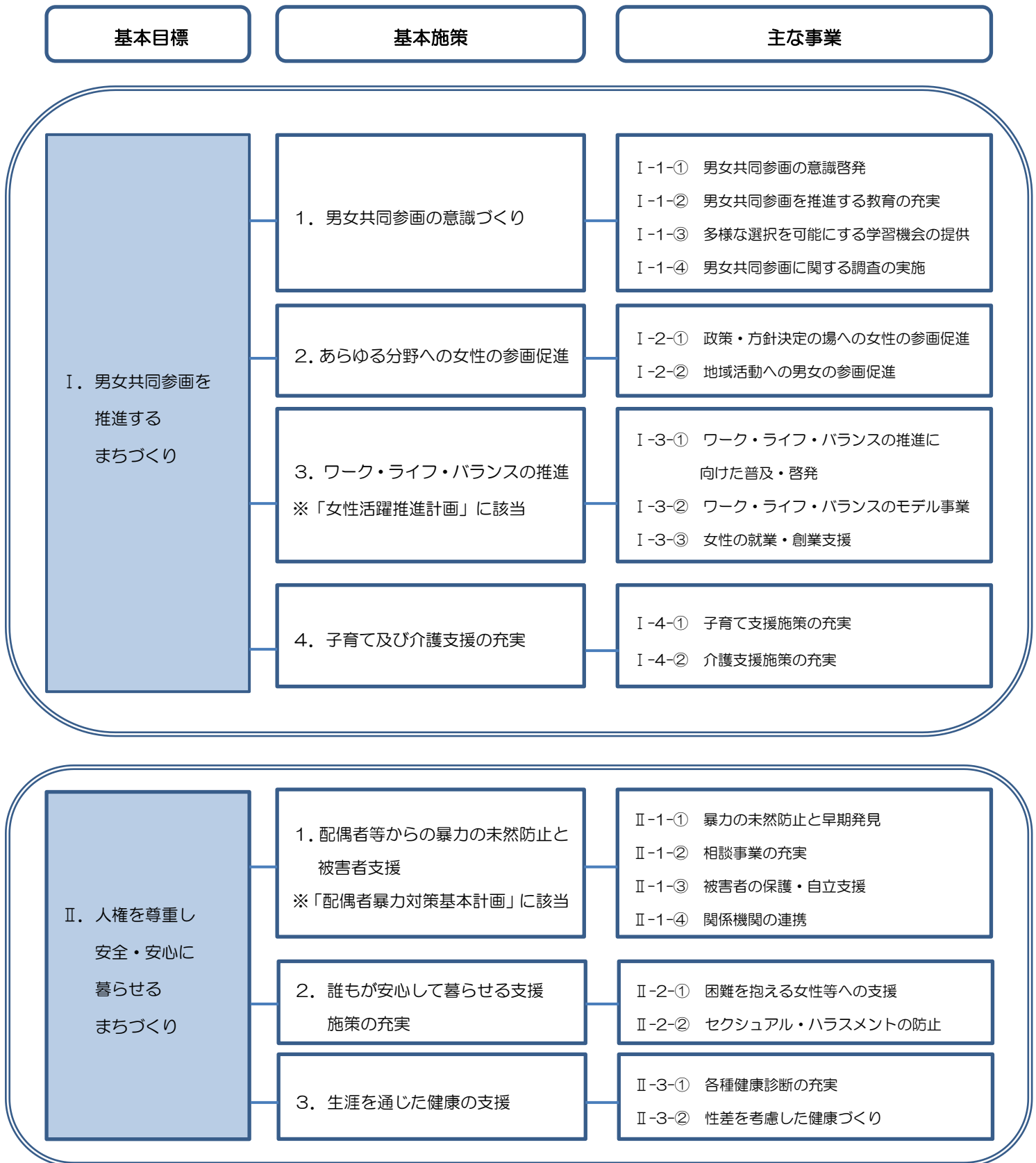
計画は、条例第9条に規定する「推進計画」として位置づけられており、「行動計画」及び「実施計画」を、毎年度「アクションプラン（以下「プラン」という。）」として個別に策定し、一体的な基本計画として管理しています。

また、プランについては、事業実績を取りまとめて報告することとし、計画に掲げる成果指標の進捗状況を確認していくこととします。

3. 計画の期間

計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間ですが、具体的な施策や取組については、社会情勢や時代の変化に合わせ、必要度が高い事業から優先し、計画の期間内に毎年度プランを策定していくこととします。

4. 第2次系島市男女共同参画社会基本計画体系図



5. 計画の進捗状況

計画では、7つの基本施策ごとに成果指標を掲げ、男女共同参画の実現に向け、取り組むこととしています。

平成29年度は、全ての事業に数値目標を設定したうえで、12課が40の事業に取り組みました。

各事業の達成度に応じて、評価を5段階で行い、計画の成果指標に対する達成状況について総括を行っています。

【事業及び成果指標の達成度】

- AA 目標値に対する実績値の割合が110%以上
- A 目標値に対する実績値の割合が90%以上、109%以下
- B 目標値に対する実績値の割合が70%以上、89%以下
- C 目標値に対する実績値の割合が50%以上、69%以下
- D 目標値に対する実績値の割合が49%以下

●平成29年度実績

基本施策	事業数	達成度AA	達成度A	達成度B	達成度C	達成度D
I-1 男女共同参画の意識づくり	7	1	5	1	0	0
I-2 あらゆる分野への女性の参画促進	6	0	3	1	2	0
I-3 ワーク・ライフ・バランスの推進	5	2	1	0	1	1
I-4 子育て及び介護支援の充実	7	1	4	2	0	0
小計	25	4	13	4	3	1
II-1 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援	6	0	4	2	0	0
II-2 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実	5	0	1	2	1	1
II-3 生涯を通じた健康の支援	4	2	0	1	1	0
小計	15	2	5	5	2	1
合計	40	6	18	9	5	2

【平成 29 年度事業実績に対する評価】

全 40 事業のうち、目標の 110%以上を達成した「AA」が 15%、90%以上を達成した「A」が 45%となっており、全体の 60%を占めています。

一方、目標の 70%以上に留まった「B」は 22.5%、同じく 50%以上の「C」は 12.5%と、合わせて全体の 35%にもなることから、次年度以降の事業見直しを行い、計画に掲げる成果指標の達成に向けた取り組みを進めていくことが必要です。

なお、「D」評価の事業については、全体的な事業見直しや新規に開始したものの周知が不十分であったことによるものであり、引き続き事業を継続し、改めて評価を行う必要があります。

また、計画に掲げる成果指標については、各事業を実施したことにより、平成 29 年度末の状況で、次のようになっています。

※ I-1、I-3、II-1 については、5 年毎に調査を行う関係で、現状値が算出されていません。

基本施策	成果指標	計画策定時	現状値 平成 30 年 3 月 31 日	目標値	達成度
I-1	「男女共同参画社会」という言葉の認知度	44.4%	—	60.0%	—
I-2	審議会等への女性委員の参画状況	30.5%	32.8%	40.0%	B
I-3	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度	28.3%	—	50.0%	—
I-4	放課後児童クラブ 対象児童	小学校 1 年～ 3 年生	小学校 1 年～ 6 年生	小学校 1 年～ 6 年生	A
	病児・病後児保育 利用者数（年間）	460 人	647 人	800 人	B
II-1	DV 防止法の認知度	48.4%	—	70.0%	—
II-2	DV・女性相談件数（年間）	781 件	694 件	860 件	B
II-3	乳がん検診受診率	19.8%	28.78%	50.0%	C
	子宮がん検診受診率	22.6%	31.87%	50.0%	C
総合評価					B

基本施策 I - 1 男女共同参画の意識づくり

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
「男女共同参画社会」と という言葉の認知度	44.4%	—	60.0%

※5年毎に調査を行うため、現状値が算出されていません

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.1	男女共同参画推進 強調月間街頭啓発	啓発グッズ等配布数 1,100 個	啓発グッズ等配布数 1,000 個	A
No.2	男女共同参画センター 運営協議会の開催	運営協議会開催数 2回	運営協議会開催数 2回	A
No.3	市職員に対する研修の実施	研修受講率 98.0%	研修受講率 94.6%	A
No.4	若年者向け啓発冊子配布事業	冊子配布数 1,000 冊	冊子配布数 1,015 冊	A
No.5	キャリア教育出前講座事業	講座受講人数 1,000 人	講座受講人数 962 人	A
No.6	男女共同参画社会基本計画 啓発推進事業	リーフレット配布冊数 500 冊	リーフレット配布冊数 400 冊	B
No.7	託児の実施	託児預かり人数(延べ数) 80 人	託児預かり人数(延べ数) 95 人	AA

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

今なお根強く見受けられる固定的性別役割分担意識を取り除き、「男女共同参画社会」の認知度を高めるべく、市民向けの啓発はもちろん、市職員や教育現場における啓発を中心に実施しました。

特に平成 29 年度は、新たに「女性が輝くミライ事業」を開始し、市内の小中学生や教職員向けへの啓発について、取り組みを開始しました。

今後も男女共同参画社会強調月間を中心に啓発を行うことはもちろんですが、教育委員会とも連携し、学校現場での啓発を重点的に取り組んでいくこととします。

基本施策 I - 2 あらゆる分野への女性の参画促進

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
審議会等への女性委員の 参画状況	30.5%	32.8%	40.0%

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.8	女性職員の登用率向上	女性職員の割合 20.0%	女性職員の割合 17.9%	B
No.9	男女共同参画人材育成事業	人材バンクへの登録者数 3人	人材バンクへの登録者数 2人	C
No.10	家族経営協定の締結促進	家族経営協定数 78件	家族経営協定数 83件	A
No.11	地域活動における 男女共同参画推進の啓発	校区の女性登用割合 25%	校区の女性登用割合 16%	C
No.12	避難所運営マニュアルの 作成	マニュアルの作成 未作成	マニュアルの作成 作成	A
No.13	登録団体支援事業	支援事業数 4本	支援事業数 4本	A

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

市の審議会をはじめ、地域活動など様々な分野における女性の参画を促進するべく、啓発活動や人材育成を中心に実施しました。

特に今年度は、地域の防災力を高めるため、女性や高齢者などの視点を取り入れた避難所運営マニュアルを作成しており、今後も引き続き女性の参画を促すことで、より防災力を高めていくことが期待されます。

基本施策 I - 3 ワーク・ライフ・バランスの推進

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度	28.3%	—	50.0%

※5年毎に調査を行うため、現状値が算出されていません

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.14	男女共同参画推進企業紹介 事例集の作成・配布	事例集配布冊数 2,200 冊	事例集配布冊数 2,350 冊	A
No.15	新規起業支援事業	新規起業数（女性） 12 人	新規起業数（女性） 15 人	AA
No.16	イクボスマニュアルの作成	マニュアルの作成 未作成	マニュアルの作成 未作成	D
No.17	子育て女性の出張就業相談	新規就業女性数 3 人	新規就業女性数 2 人	C
No.18	女性の再就職支援事業	講座受講者数 20 人	講座受講者数 50 人	AA

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

個人にとっては、多様で柔軟な働き方の選択など、企業にとっても人材の確保や生産性の向上などのメリットが期待できることから、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた啓発活動を市民や企業に向けて行うだけでなく、市も率先して実施しています。

特に平成 29 年度は、国の動きに合わせ、「糸島市働き方改革の取組方針」を策定し、市としての指針を示しています。

また、女性がより就業しやすい環境の整備に向け、関係課や関係機関と連携し、地元企業とのより効果的なマッチングを行う「いとしま就職面談会」をはじめ、新規起業をサポートする各種事業の展開など、今年度も重点的に取り組んでいくこととします。

基本施策 I - 4 子育て及び介護支援の充実

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
放課後児童クラブ 対象児童	小学校 1 年～ 3 年生	小学校 1 年～ 6 年生	小学校 1 年～ 6 年生
病児・病後児保育 利用者数（年間）	460 人	647 人	800 人

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.19	病児・病後児保育事業	利用者数 689 人	利用者数 647 人	A
No.20	子育て短期支援事業	利用者数 5 人	利用者数 12 人	AA
No.21	民間保育所施設整備事業	保育所入所定員数 2,515 人	保育所入所定員数 2,538 人	A
No.22	ママ・パパ教室	教室参加者数 60 人	教室参加者数 64 人	A
No.23	介護人材確保事業	研修受講者数 56 人	研修受講者数 55 人	A
No.24	介護予防・日常生活支援 総合事業	サービスの種類数 6 種類	サービスの種類数 5 種類	B
No.25	認知症施策推進事業	認知症カフェ設置件数 10 件	認知症カフェ設置件数 7 件	B

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

市の後期基本計画における重点プロジェクトの一つである「子育て支援」を推進するため、施設改修による入所定員数の増加や、「ファミリー・サポート・センター事業」の検討などに取り組みました。

また、介護者等の負担軽減に向け、地域の実情に応じた支援事業を実施しましたが、今年度も引き続き、取り組んでいくこととします。

基本施策Ⅱ - 1 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
DV 防止法の認知度	48.4%	—	70.0%

※5年毎に調査を行うため、現状値が算出されていません

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.26	DV防止街頭啓発	啓発グッズ等配布数 1,200 個	啓発グッズ等配布数 1,200 個	A
No.27	啓発講座や出前講座の実施	講座の実施回数 5回	講座の実施回数 4回	B
No.28	DV女性相談窓口の設置	DV女性相談件数 760 件	DV女性相談件数 694 件	A
No.29	DV相談カードの 配布・設置	カード配布（補充）数 6,350 枚	カード配布（補充）数 6,600 枚	A
No.30	関係課との連携相談対応	連携相談対応件数 550 件	連携相談対応件数 463 件	B
No.31	福岡県との連携会議	会議開催数 1回	会議開催数 1回	A

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

女性に対する配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援を行うべく、啓発に力を入れるとともに、相談事業の充実を図りました。

特に平成 29 年度は、市広報で特集記事を作成し、幅広い市民の方へ周知を行うことができました。

今後も啓発活動を中心に行うことはもちろんですが、様々な方法を活用しながら、市民への啓発を行うとともに、相談者一人ひとりに寄り添える相談体制の構築に向けて、重点的に取り組んでいくこととします。

基本施策Ⅱ - 2 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
DV・女性相談件数（年間）	781 件	694 件	860 件

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.32	生活困窮者自立支援事業	任意事業の実施数 2 事業	任意事業の実施数 1 事業	C
No.33	ハラスメント相談員及び 相談窓口の設置	相談員に対する研修実施 1 回	相談員に対する研修実施 1 回	A
No.34	女性のための エンパワーメント事業	講座参加人数 25 人	講座参加人数 20 人	B
No.35	困難を抱える女性への 支援事業	講演会参加者数 80 人	講演者参加者数 70 人	B
No.36	ひとり親家庭等 修学支援事業	利用者数 3 人	利用者数 0 人	D

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

年齢や男女を問わず、様々な困難を抱える人々が増えてきている状況において、必要な支援策を提供していくため、相談窓口を整備するとともに、周知を図りながら、関係各課との連携強化を図りました。

特に平成 29 年度は、困難を抱えた方が、本来持っている生きる力を取り戻すための一歩を踏み出す講座を開催するなど、新たな支援に取り組みました。

今後も様々な相談窓口や行政機関との連携強化に努めることはもちろんですが、生活に困難を抱えている方を支援するため、心理的なケアを行うカウンセリング事業などを新たに実施していくことで、相談者が抱える問題に対するサポートにより一層取り組んでいくこととします。

基本施策Ⅱ - 3 生涯を通じた健康の支援

成果指標	計画策定時	平成 30 年 3 月 31 日現状値	目標値
乳がん検診受診率	19.8%	28.78%	50.0%
子宮がん検診受診率	22.6%	31.87%	50.0%

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.37	栄養講座の開催	講座参加者実数 45 人	講座参加者実数 52 人	AA
No.38	女性特有のがん予防対策	がん検診受診率 子宮がん 50.0% 乳がん 50.0%	がん検診受診率 子宮がん 28.78% 乳がん 31.87%	C
No.39	思春期保健事業	参加人数 700 人	参加人数 924 人	AA
No.40	スポーツチャレンジ事業	参加人数 120 人	参加人数 97 人	B

■平成 29 年度の総括及び今後の方向性

女性はライフステージに応じて、身体的な変化が大きく影響し、女性特有の健康をめぐり様々な問題を生じやすくなります。その健康課題に対して、女性の健康保持増進を図るための体制構築に取り組んでいます。

平成 29 年度は、育児中の母親の健康支援を行うため、ヨガの体験学習を初めて実施し、参加者からは好評を博しました。

今後も受診しやすい環境づくりを推進し、健（検）診の受診者を増やしていくことはもちろんですが、健康保持増進につながる講座などを開催することで、より自己管理できるような支援にも取り組んでいくこととします。

【基本目標】男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】男女共同参画の意識づくり

No.	1	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	男女共同参画推進強調月間街頭啓発		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	男女共同参画社会の形成に関する理解を深めるため、男女共同参画推進強調月間である6月に、人が多く集まる場所で啓発グッズ等を配布し、周知を行う。		
実施状況 今後の課題	5月29日に、人が多く集まる場所で街頭啓発を実施。 筑前前原駅：350個、波多江駅：300個 筑前深江駅：100個、志摩イオン：250個		
活動指標	指標	啓発グッズ等配布数	
	(現状値)	1,000	個
	(目標値)	1,100	個
	(実績値)	1,000	個
達成度	A	91	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	2	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	男女共同参画センター運営協議会の開催		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	男女共同参画センターラポールの利用者や公募された市民、有識者で構成される運営協議会を設置し、男女共同参画センターを中心とした男女共同参画の啓発、推進に取り組む。		
実施状況 今後の課題	平成29年7月及び平成30年2月に、運営協議会を開催し、男女共同参画センターの有効活用について、意見を交換。		
活動指標	指標	運営協議会開催数	
	(現状値)	2	回
	(目標値)	2	回
	(実績値)	2	回
達成度	A	100	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	3	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	市職員に対する研修の実施		
担当課	総務課		
事業内容	男女共同参画に関する知識等の研修会を実施し、市職員に対する意識改革を図る。		
実施状況 今後の課題	12月に人権同和研修の一環として、男女共同参画に対する研修を2日間（4回）行い、計272名の職員の参加（うち嘱託員12名）の参加があった。		
活動指標	指標	研修受講率	
	（現状値）	97.0	%
	（目標値）	98.0	%
	（実績値）	94.6	%
達成度	A	97	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	4	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	若年者向け啓発冊子配布事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課・学校教育課		
事業内容	男女共同参画社会の推進に向け、ジェンダーの視点を踏まえた若年者向けの啓発冊子を作成し、市内の小・中学校に配布する。		
実施状況 今後の課題	ジェンダーの視点を踏まえた中学生用の啓発冊子を作成し、市内の中学校全てに配布。		
活動指標	指標	冊子配布数	
	（現状値）	—	冊
	（目標値）	1,000	冊
	（実績値）	1,015	冊
達成度	A	102	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	5	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	キャリア教育出前講座事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課・学校教育課		
事業内容	市内の小・中学校等に出向き、ジェンダーの視点を踏まえた「働く」ことについて、学ぶ講座を開催し、啓発を推進する。		
実施状況 今後の課題	市内の小・中学校に出向き、出前講座等を10回開催し、子どもたちや教師に向け、啓発を実施。		
活動指標	指標	講座受講人数	
	(現状値)	－ 人	
	(目標値)	1,000 人	
	(実績値)	962 人	
達成度	A	96 %	
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	6	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	男女共同参画社会基本計画啓発推進事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	講演会の開催やリーフレットの配布を通じて、第2次糸島市男女共同参画社会基本計画に掲げる基本施策について、より多くの市民に向けた啓発を推進する。		
実施状況 今後の課題	男女共同参画に関する基本的な知識について啓発するリーフレットを作成し、みなづきフォーラムや講座等の参加者に対し、配布し啓発を実施。		
活動指標	指標	リーフレット配布冊数	
	(現状値)	－ 冊	
	(目標値)	500 冊	
	(実績値)	400 冊	
達成度	B	80 %	
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	7	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	託児の実施		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	人権・男女共同参画推進課や男女共同参画推進団体が開催する講座等において、託児を実施することで、子育て中の女性の参画を推進する。		
実施状況 今後の課題	講座や会議等の際に、子育て中の女性が参画しやすいように、合計38回の託児を実施。		
活動指標	指標	託児預かり人数（延べ数）	
	（現状値）	73	人
	（目標値）	80	人
	（実績値）	95	人
達成度	AA	119	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】あらゆる分野への女性の参画促進

No.	8	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	女性職員の登用率向上		
担当課	総務課		
事業内容	職員調書を尊重した適材適所の人事配置に努める。 次世代育成支援ガイドを活用し、積極的な推進に努める。		
実施状況 今後の課題	採用職員における女性職員の割合は増加しつつあるが、各役職段階における割合はまだ不十分であるため、今後も引き続き推進に努める。		
活動指標	指標	係長級以上の職に占める女性の割合 (消防職員を除く)	
	(現状値)	17.0	%
	(目標値)	20.0	%
	(実績値)	17.9	%
達成度	B	90	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	9	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	男女共同参画人材育成事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	男女共同参画推進のため、年間を通じて講座を開催、また、県が実施する女性海外研修や他自治体が開催する講座等への参加費用を補助し、人材育成に取り組む。		
実施状況 今後の課題	福岡県が主催する「地域のリーダーを目指す女性応援研修」への参加者に対し、参加費用の補助を実施。		
活動指標	指標	研修参加者の女性人材バンクへの登録者数	
	(現状値)	2	人
	(目標値)	3	人
	(実績値)	2	人
達成度	C	67	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	10	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	家族経営協定の締結促進		
担当課	農業振興課		
事業内容	家族経営協定の締結を促進することで、女性の農業分野における役割を適正に評価するとともに、女性の経済的地位の向上と就業（農）条件や就業（農）環境の整備を図り、女性の農業経営への参画を促進する。		
実施状況 今後の課題	協定締結に関する制度上のメリット等を周知しながら締結を促進し、計画以上の件数を締結。		
活動指標	指標	家族経営協定数	
	（現状値）	75	件
	（目標値）	78	件
	（実績値）	83	件
達成度	A	106	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	11	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	地域活動における男女共同参画推進の啓発		
担当課	地域振興課		
事業内容	男女共同参画の視点を取り入れ、地域振興や校区まちづくり事業を実施する中で、啓発を推進し、地域活動における女性の参画促進を図る。		
実施状況 今後の課題	全ての校区において、地域住民が自ら事業計画を立て、その計画に基づいて事業を実施しており、今後も継続して女性登用の啓発を推進。		
活動指標	指標	校区の運営委員会または協議会の女性登用割合（15校区）	
	（現状値）	19	%
	（目標値）	25	%
	（実績値）	16	%
達成度	C	64	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	12	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	避難所運営マニュアルの作成		
担当課	危機管理課		
事業内容	大規模災害等における避難所運営マニュアルを作成する際に、女性や高齢者、障がい者等の視点を取り入れることで、地域防災活動における女性の参画推進を図る。		
実施状況 今後の課題	福岡県避難所運営マニュアル作成指針を参考に糸島市避難所運営マニュアルを作成。 今度から実施する校区别避難所運営訓練において、マニュアルの検証、修正を行い、より実効性を高めていく。		
活動指標	指標	避難所運営マニュアル作成	
	(現状値)	未作成	
	(目標値)	作成	
	(実績値)	作成	
達成度	A	100	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	13	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	登録団体支援事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	市の男女共同参画を推進し、男女共同参画センターを有効に活用するため、市内団体のうち、男女共同参画推進に尽力する団体に対し、施設利用や広報活動における支援を行う。		
実施状況 今後の課題	市内女性団体のうち4団体が、「地域防災」や「男女共同参画推進条例」などのテーマに基づいた支援事業を実施。		
活動指標	指標	支援事業数	
	(現状値)	3 本	
	(目標値)	4 本	
	(実績値)	4 本	
達成度	A	100	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】ワーク・ライフ・バランスの推進

No.	14	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	男女共同参画推進企業紹介事例集の配布		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	女性が働きやすい職場環境を整備している企業等を紹介した事例集を市民や市内企業に対し配布することで、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発する。		
実施状況 今後の課題	昨年度に引き続き、事例集を講座参加者等に配布し、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発。		
活動指標	指標	事例集配布冊数（延べ）	
	（現状値）	2,000	冊
	（目標値）	2,200	冊
	（実績値）	2,350	冊
達成度	A	107	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	15	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	新規起業家応援事業		
担当課	商工観光課		
事業内容	市内で新規に起業する人を応援するため、店舗などの改修費用や利子補給をはじめ、創業塾の開催や開業手続きのサポートなどを行う。		
実施状況 今後の課題	新規起業家に対する各種支援を実施した。 創業塾（年2回）開催：44人参加 創業相談：102件、起業家数：49人 リフォーム補助：12件 創業資金融資件数：33件、利子補給：20件		
活動指標	指標	新規起業家数（女性）	
	（現状値）	9	人
	（目標値）	12	人
	（実績値）	15	人
達成度	AA	125	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	16	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	イクボスマニュアルの作成		
担当課	総務課		
事業内容	部下が育児と仕事を両立できるように配慮したり、育休取得や短時間勤務などを行っても業務を滞りなく進めるための環境整備に向けたマニュアルを作成し、業務効率をあげることにより、ワーク・ライフ・バランスを推進することを目指す。		
実施状況 今後の課題	平成29年度に作成に向けた検討を行い、全体的な方針として「糸島市働き方改革の取組方針」を策定した。引き続き、マニュアルの策定に向けて取り組む。		
活動指標	指標	イクボスマニュアル作成	
	(現状値)	未作成	
	(目標値)	作成	
	(実績値)	未作成	
達成度	D	0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	17	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	子育て女性の出張就業相談		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	福岡労働支援事務所（子育て女性就業支援センター）と連携し、男女共同参画センターで子育て中の女性の就業を支援する。		
実施状況 今後の課題	毎月相談会を開催しているが、平成29年度の参加者は1人だった。広報等の周知を含め、福岡労働支援事務所と連携し、より市民に伝わりやすいPRを検討する必要がある。		
活動指標	指標	新規就業女性数	
	(現状値)	2	人
	(目標値)	3	人
	(実績値)	2	人
達成度	C	67	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	18	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	女性の再就職支援事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	資格取得のための試験対策講座や起業に役立つ知識を学ぶ講座を開催するほか、企業との合同就職面談会や見学会を開催し、再就職や起業への支援を行う。		
実施状況 今後の課題	趣味や特技を活かして起業したいと考えている女性向けの連続講座や商工観光課主催の「いとしま就職面談会」等と連携した就職支援講座を計24回開催し、延べ315人が参加。		
活動指標	指標	講座受講者数	
	(現状値)	11	人
	(目標値)	20	人
	(実績値)	50	人
達成度	AA	250	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】 子育て及び介護支援の充実

No.	19	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	病児・病後児保育事業		
担当課	子ども課		
事業内容	病児・病後児保育事業を実施し、子育て環境の向上と保護者の就労支援を図る。		
実施状況 今後の課題	今後も引き続き、子育て環境の向上と保護者の就労支援を図るため、定員数の増加等の環境整備に努める。		
活動指標	指標	利用者数	
	(現状値)	615	人
	(目標値)	689	人
	(実績値)	647	人
達成度	A	94	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	20	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	子育て短期支援事業		
担当課	子ども課		
事業内容	児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童をファミリーホーム等で預かる。		
実施状況 今後の課題	学校等への送迎の対応を含め、事業を実施した。 短期入所生活援助（ショートステイ）事業 ：1か所、8人日 夜間養護等（トワイライトステイ）事業 ：1か所、夜間：1人日、休日3人日		
活動指標	指標	利用者数	
	(現状値)	0	人
	(目標値)	5	人
	(実績値)	12	人
達成度	AA	240	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	21	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	民間保育所施設整備事業		
担当課	子ども課		
事業内容	新・旧耐震基準の保育所の建替え・改修を実施し、保育環境の整備と待機児童の解消を図る。		
実施状況 今後の課題	平成29年度から、るんびに保育園の増改築（定員60名→75名）に取り掛かっており、平成31年2月末に完成予定。		
活動指標	指標	保育所入所定員数	
	（現状値）	2,360	人
	（目標値）	2,515	人
	（実績値）	2,538	人
達成度	A	101	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	22	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	ママ・パパ教室		
担当課	健康づくり課・子ども課		
事業内容	妊婦とその家族を対象に、生まれてすぐからの子育てについて必要な知識等を学ぶ勉強会を、子育て支援センターと合同で開催する。		
実施状況 今後の課題	妊婦体験・沐浴実習・子育てに関する講話を内容とする勉強会を年4回開催。毎回10組の参加を目標としているが、参加者が定員に満たない回がある。 今後の課題として、ターゲットに対する周知方法を検討していく。		
活動指標	指標	教室参加者数	
	（現状値）	54	人
	（目標値）	60	人
	（実績値）	64	人
達成度	A	107	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	23	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	介護人材確保事業		
担当課	介護・高齢者支援課		
事業内容	在宅でも介護ができるという意識づけを行うため、家庭介護者向け研修会を実施する。		
実施状況 今後の課題	在宅介護の意識強化を図るため、講座内容を変更し、より啓発活動の強化に努める。		
活動指標	指標	研修受講者数	
	(現状値)	0	人
	(目標値)	56	人
	(実績値)	55	人
達成度	A	98	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	24	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	介護予防・日常生活支援総合事業		
担当課	介護・高齢者支援課		
事業内容	全国一律の予防給付を市が取り組む地域支援事業に移行し、既存のサービスに加え、多様なサービスを開始する。		
実施状況 今後の課題	平成29年度に訪問型サービスBを開始しており、引き続き平成30年度中に通所型サービスBを開始する予定。		
活動指標	指標	多様なサービスの種類数	
	(現状値)	4	種類
	(目標値)	6	種類
	(実績値)	5	種類
達成度	B	83	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	25	基本施策	子育て及び介護支援の充実
事業名	認知症施策推進事業		
担当課	介護・高齢者支援課		
事業内容	各地域に認知症地域支援推進員を配置し、地域の実情に応じた各事業を実施することで、介護者等の負担を軽減する。		
実施状況 今後の課題	広報等で認知症カフェの開催状況を掲載し、利用者の増加に努め、介護者等の負担軽減を図っていく。		
活動指標	指標	認知症カフェ設置件数	
	(現状値)	6 件	
	(目標値)	10 件	
	(実績値)	7 件	
達成度	B	70	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援

No.	26	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	DV防止街頭啓発		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	DV防止に関する理解を深めるため、「女性に対する暴力をなくす運動」を内閣府が主唱する11月に、人が多く集まる場所で啓発グッズ等を配布し、周知を行う。		
実施状況 今後の課題	10月31日に、人が多く集まる場所で街頭啓発を実施。 筑前前原駅：600個、波多江駅：300個 筑前深江駅：100個、志摩イオン：200個		
活動指標	指標	啓発グッズ等配布数	
	(現状値)	1,000	個
	(目標値)	1,200	個
	(実績値)	1,200	個
達成度	A	100	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	27	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	啓発講座や出前講座の実施		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	DVに対する正しい理解の普及啓発を推進するため、若年世代を含む市民に対し、啓発講座や出前講座を実施し、暴力の未然防止や早期発見につなげる。		
実施状況 今後の課題	市内の中学校や高校に出向き、生徒を対象とした出前講座を年間4回開催し、延べ740人の参加者に対し、啓発を行った。		
活動指標	指標	啓発講座や出前講座の実施回数	
	(現状値)	4	回
	(目標値)	5	回
	(実績値)	4	回
達成度	B	80	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	28	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	DV女性相談窓口の設置		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	夫やパートナーからのDVに対し、女性が安心して相談できるよう、専門知識を備えた相談員を配置した相談窓口を設置するとともに、相談窓口の周知を図る。		
実施状況 今後の課題	市広報等により、相談窓口を周知するとともに、庁内関係各課と連携を図り、相談体制を構築した。		
活動指標	指標	DV・女性相談件数	
	(現状値)	742	件
	(目標値)	760	件
	(実績値)	694	件
達成度	A	91	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	29	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	DV相談カードの配布・設置		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	市内の公共施設や、病院、学校などの女性用トイレにDV相談カードを設置し、相談窓口の周知を図る。		
実施状況 今後の課題	より多くの方にPRできるように、カラーで印刷したDVカードを医師会と連携し、市内の病院及び公的施設に設置。		
活動指標	指標	カード配布（補充）数	
	(現状値)	6,230	枚
	(目標値)	6,350	枚
	(実績値)	6,600	枚
達成度	A	104	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	30	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	関係課との連携相談対応		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	DV被害者の状況や、一人ひとりの状態に応じた支援を行うため、庁内関係各課と連携し、情報共有や相談体制の構築を図る。		
実施状況 今後の課題	普段から情報共有を図ることを意識し、相談者一人ひとりの状態に応じた支援体制の構築に努めている。同じような支援体制を継続できるように、研修等を行う必要がある。		
活動指標	指標	連携相談対応件数	
	(現状値)	504	件
	(目標値)	550	件
	(実績値)	463	件
達成度	B	84	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	31	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	福岡県との連携会議		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	福岡県をはじめ、警察などの関係機関との会議を設け、情報共有やケース対応についての確認を行い、組織を超えた連携体制を構築することで、相談体制の充実を図る。		
実施状況 今後の課題	福岡県や糸島警察署などの関係機関と、日頃から情報共有に努め、ケース担当者会議等を通じ、連携体制を構築している。		
活動指標	指標	会議開催数	
	(現状値)	1	回
	(目標値)	1	回
	(実績値)	1	回
達成度	A	100	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実

No.	32	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	生活困窮者自立支援事業		
担当課	福祉支援課		
事業内容	生活困窮者自立支援法に基づく事業のうち、任意事業である家計相談支援事業を実施することで、生活困窮者の家計に関する相談に応じ、必要な情報提供や助言、支出節約に関する継続的な指導を促す。		
実施状況 今後の課題	生活困窮者の家計に関する相談に対し、情報提供や助言、指導を行った。 今後は、より専門的な支援を行うため、家計相談支援員による事業実施が必要。		
活動指標	指標	任意事業の実施数	
	(現状値)	1	事業
	(目標値)	2	事業
	(実績値)	1	事業
達成度	C	50	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	33	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	ハラスメント相談員及び相談窓口の設置		
担当課	総務課		
事業内容	ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任した相談窓口を設置し、職場環境の整備を推進する。		
実施状況 今後の課題	ハラスメントに関する知識のある職員を相談員を選任し、安心して相談できる相談窓口を設置し、職場環境の整備に取り組んでいる。		
活動指標	指標	ハラスメント相談員に対する研修実施	
	(現状値)	1	回
	(目標値)	1	回
	(実績値)	1	回
達成度	A	100	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	34	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	女性のためのエンパワーメント事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	女性が抱える問題の解決に向け、必要な知識や法律などを学ぶ講座を数回開催し、生活上の困難を抱える女性への支援を行う。		
実施状況 今後の課題	ジェンダーに縛られている自分や社会に気づき、自己肯定感を高めエンパワメントするための講座を全4回開催。		
活動指標	指標	講座参加人数	
	(現状値)	－ 人	
	(目標値)	25 人	
	(実績値)	20 人	
達成度	B	80	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	35	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	困難を抱える女性への支援事業		
担当課	子ども課 人権・男女共同参画推進課		
事業内容	望まない妊娠による中絶や虐待、赤ちゃんの遺棄、そして貧困の連鎖など、女性や子どもが抱える困難な状況や、その背景に潜む社会的な構造について学ぶ機会を提供し、より多くの方の理解と支援につなげる。		
実施状況 今後の課題	望まない妊娠による中絶や虐待、赤ちゃんの遺棄、貧困の連鎖などの背景に見える女性や子どもの現状を知るための講座を開催。		
活動指標	指標	講演会参加者数	
	(現状値)	－ 人	
	(目標値)	80 人	
	(実績値)	70 人	
達成度	B	88	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、検討する		

No.	36	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	ひとり親家庭等修学支援事業		
担当課	子ども課		
事業内容	ひとり親家庭の親及び子どもが、高卒認定試験合格のための講座を受講し、修了又は試験合格時に受講費用の一部を支給する。		
実施状況 今後の課題	事業を平成29年度から開始したが、利用実績はなかった。 今後は、広報等によるPRを行い、制度の周知に努める。		
活動指標	指標	利用者数	
	(現状値)	0	人
	(目標値)	3	人
	(実績値)	0	人
達成度	D	0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 生涯を通じた健康の支援

No.	37	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	栄養講座の開催		
担当課	健康づくり課		
事業内容	健康管理・保持増進のため、栄養士等による講話や、「栄養講座」を開催し、生活習慣病予防のための食習慣に関する正しい知識の啓発を行う。		
実施状況 今後の課題	いとしま健康大学の一講座として実施。3会場で計32回開催し、目標以上の参加者を得た。講座修了後、食生活改善推進会への加入促進を図る等、更に活動が広がるよう支援しており、今後も支援強化していく必要がある。		
活動指標	指標	講座参加者実数	
	(現状値)	43	人
	(目標値)	45	人
	(実績値)	52	人
達成度	AA	116	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	38	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	女性特有のがん予防対策		
担当課	健康づくり課		
事業内容	女性特有のがん予防対策として、子宮がん、乳がん検診の推進を図るために、女性に対する健診体制の拡充（レディースデイの設定や就学前健診との同時実施、個別検診の継続、JA女性部との同時実施）や未受診者への受診勧奨を行う。		
実施状況 今後の課題	総合健診49回に加え、就学時健診、協会けんぽの被扶養者健診と女性がん検診同時実施13回、JA女性部とのコラボ健診を3回実施し、健診の機会を増やす取組みを実施した。受診率は増加しているが、目標は未達成の為、今後も更なる啓発と受診勧奨が必要。		
活動指標	指標	受診率（子宮頸がん20～69歳、乳がん40～69歳）	
	(現状値)	子宮頸がん 27.17 乳がん 29.63	%
	(目標値)	子宮頸がん 50.00 乳がん 50.00	%
	(実績値)	子宮頸がん 28.78 乳がん 31.87	%
達成度	C	61	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	39	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	思春期保健事業		
担当課	健康づくり課		
事業内容	保健師や助産師を講師とした性教育を学ぶ思春期保健事業を中学校等で開催し、正しい知識について啓発を行う。		
実施状況 今後の課題	市内中学校6校のうち、5校で実施。 目的等の理解を得て、全校実施を目指す。		
活動指標	指標	参加人数	
	(現状値)	684	人
	(目標値)	700	人
	(実績値)	924	人
達成度	AA	132	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	40	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	スポーツチャレンジ事業（おかあさんヨガ）		
担当課	生涯学習課		
事業内容	ヨガの体験講座を実施し、育児中の母親等の体と心のリフレッシュを図り、スポーツを行うきっかけづくりを行う。		
実施状況 今後の課題	参加者アンケートでは、「これから運動をはじめたい」「このような機会にまたぜひ参加したい」との回答が多く寄せられており、スポーツを行うきっかけづくりの目的は達成できている。		
活動指標	指標	参加人数	
	(現状値)	53	人
	(目標値)	120	人
	(実績値)	97	人
達成度	B	81	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		